たんぽぽだより

ふじの小児科クリニック
病児保育室たんぽぽ

令和８年　９月号

まだまだ日中は厳しい暑さが続いていますが、朝夕の空の色や吹く風に、少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。実りの秋、こんがりと日焼けした子どもたちの姿に、ひと夏の成長を実感する頃でもあります。夏の疲れが出やすい時期でもあるので、早寝・早起き・朝ご飯をしっかり食べて、元気に心地よい季節を過ごしましょう。

防災週間（８月30日～９月５日）

９月１日は防災の日、９月９日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。
また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。
- 子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
  （薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- 踏み台になる物はベランダに置かない
- コンセントなどをいたずらできないようにする
- 遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- 浴室には子ども１人で勝手に入れないよう、施錠など工夫をする

病児保育室のお食事紹介

★基本的には、お子様の体調や好みに応じてご持参いただきますが、当院の厨房にて手作りのお食事も注文可能です★
（おやつ代込み＝５００円）（おやつのみ＝１００円）　※アレルギー食・離乳食は別途ご持参ください。

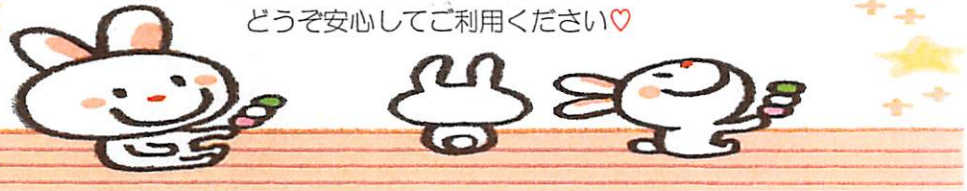
★症状に応じておかゆや麺類の注文もご相談いただけます★

小児科だより

★手足口病やヘルパンギーナなどの夏風邪の流行はずいぶん治まってきましたが、感染性胃腸炎や新型コロナウイルス感染症等での受診が見られています。暑さによる皮膚のトラブル（あせもや虫さされからのとびひなど）での受診も多く見られました。

★新学期も始まりましたが、まだまだ残暑が厳しく、暑さによる疲れが溜まっているお子様も多い時期です。引き続き、手洗い・うがいや冷房で締め切りがちな室内の換気、熱中症対策に留意しながら、季節の変わり目も元気に過ごせるようにしていきたいですね。

★お子様の症状で気になることや不安なことがあれば、どうぞお気軽にご相談ください。

保育室だより

病児保育室は、当日初めて利用されるお子様が多く、年齢の幅も大きいので、「毎日が慣らし保育」とも言えます。初めてのお部屋や保育者に泣いたり、緊張した表情の子どもたち。絵本を一緒に読んだり、好きなおもちゃを見つけて遊び始めたりすることで、徐々に緊張もほぐれて、リラックスした笑顔が見られるようになると、保育者側も一安心でとっても嬉しいです♪帰る頃には「また来るね！」と言ってくれることも…。初めての場所に体調不良の状態なので、保護者の方も不安が大きいかと思いますが、手厚く保育・看護させていただきます。「ここなら安心」と思っていただける保育を心がけてまいりますので、どうぞ安心してご利用ください♡